

## 事業完了（廃止等）報告書

### 調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 平成31年3月15日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅲ》</p> <p>ア. 広報・相談体制の充実に関すること</p> <p>ウ. 教育課程・指導上の工夫に関すること</p> <p>オ. 教職員の配置・研修に関すること</p> <p>カ. その他既存の夜間中学における教育機会の提供拡充に関すること</p>
調査研究のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 尼崎市立成良中学校琴城分校においては、市内在住者と在勤者のみを対象として運営されてきた。しかし、義務教育機会確保法第14条に記載の通り、就学の機会を希望する者が多く存在することを踏まえると、広域の広報の在り方についても調査をおこなう必要がある。先進的に実施している奈良県教育委員会、広域の広報の在り方を大阪府教育庁の担当者を招聘し、調査研究をおこない、多様な生徒の広域な受け入れや広報の在り方について方向性を示す。</li> <li>○ 夜間中学に通う生徒は、年齢・国籍等による生活経験や学力も一人ひとり異なることから、その実態の把握には工夫が必要となる。中学校夜間中学学級においてのDLAの活用について先進的に研究をしている墨田区立文花中学校夜間学級の先進校視察をおこない、その有効性・可能性の研究をおこなう。また、識字・日本語指導の研究者を招聘し、本校実態に応じたサポートする指導方法の在り方の調査研究をおこなう。</li> <li>○ 日本語指導の講師の招聘については、神戸YWCA学院の斎藤明子先生を迎え、継続的に指導を受ける。</li> <li>○ 夜間中学への受け入れ実績の少ない不登校経験者へのサポートについて、研究調査をおこなう必要性がある。そのスキル習得のため、サポート・ステーション等での研究実践を調査し研究を深め、多様な生徒の受入れ拡大を図るために必要な支援の在り方を探る。</li> <li>○ 東大阪市政世論調査の識字率調査方法等から、中学校夜間学級のニーズ調査の方向性を研究する。</li> </ul>
調査研究の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 兵庫県教育委員会主催の中学校夜間学級の充実・改善のための意見交換会が年2回開催されたため、奈良県教育委員会や近隣他市町教育委員会等関係者を呼んでの校内研修は行わず、意見交換会での内容を校内研修として取り上げ、先進的な事例の把握や市町村間の多様な生徒の広域な受け入れや広報の在り方についての教職員間の共通理解を図ることができた。</li> <li>○ 公開授業や講師招聘によって、指導方法の工夫や改善に非常に役立った。日本語講師からは、参考文献だけでは理解に至るこ</li> </ul>

とができない、具体的な生徒への向き合い方や、指導を進めていく上での留意点を体験的に学ぶことができ、授業力向上に非常に役に立った。また、識字・日本語指導の研究者からは、本校実態に応じた日本語支援や指導の充実への示唆などを受け、学校全体での具体的な支援や指導方法の在り方の方向性を掴むことができた。このことによって、教員の研究心や指導意欲の向上にたいへん効果がみられ、教科における日本語指導など、来年度の教育課程の再編成を一步進めることができた。

○全夜中研東京大会や基礎教育保障学会へ参加し、先進地域での取組を情報収集するとともに、お互いの成果や課題を意見交換した。その内容を校内研修として取り上げ、本校における教育機会の提供拡充に関して検討を進めることができた。